

連盟会報

発行日：2017(平成29年)4月7日

発行：一般財団法人 日本抜刀道連盟

企画・構成・編集：〈広報部〉

…事務局… 〒130-0026

東京都墨田区両国 2-21-5 兩國ダイカンプラザ802号

☎：03-3631-5851 FAX:03-3631-5852

〈祝〉創立25周年記念式典 一般財団法人 [NPOから一般財団へ…] 日本抜刀道連盟

■ 総会終了後は場所を移動し、祝賀の宴は、公私共にご多忙の中、参議院議員 決算委員長 岡田 広 連盟名誉会長ならびに、ご来賓の先生方のご臨席を戴き、気合の入った菅野 茂 事務局長の総合司会により、連盟二十五周年記念式典と祝賀の宴は手際よく爽快にすすめられ、美酒をかたむけながらの対話と交流がはずみ、宴の盛り上がりに乗じ、カラオケでの美声でムード歌謡に酔いしれ、夜のたとよりも忘れ、祝賀の宴は盛り上がりを見せた。

〈ご挨拶〉：要旨 連盟会長 大江正男



当連盟は、創立25周年の節目にNPOから一般財団に名前を変えさせて戴いたが、これもひとえに皆様方のご協力があればこそで、その名に恥じない様に、ご指導を戴きながら皆様方と共に心新たに精進して行きたいと思っております。

常日頃申し上げているが本連盟の刀法は、形・実技ともに捨て身や攻撃する技でなく、教本に基づいた修練を積み重ねる基本に忠実に励んで戴きたくお願い申し上げます。

〈ご祝辞〉：要旨

参議院議員決算委員長 岡田 広 連盟名誉会長

大江会長の元で、創立二十五周年と一般財団の祝賀を迎え、よかったですと思う…。

孔子の言葉をかりるならば、我れ十五歳で、学問に志し「三〇歳で自立」。四〇歳で心の惑いを払い、五〇歳で天命を知る。六〇歳で耳にどんな話が聞こえても動揺したり、腹が立つことはなくなった。七〇歳になると自分の総ての行動は道徳の規範から外れることはなくなったと言ふ…。

この言葉から、組織活動に於いても三〇年までに自立…と云う事が大切であり、連盟にとっては、これからの五年間が重要であると考える…。

この抜刀道を縁にして、互いの〈絆〉を深め、手をたずさえて目標に向かって精進してほしい…。

人の考え方は十人十色。しかし、決まったらその目的に向かって、数珠の様に一本の縦糸で結ばれる、ネットワークを構築。この式典をきっかけに会員間の〈絆〉を深め、抜刀道を通じ地域に元気な風を送って戴きたい…。



〈ご来賓〉：〈ご祝辞〉

ご多忙の処ご来賓の先生方からは、創立25周年と一般財団への移行を祝い、連盟の更なる発展を願う、数々の有り難い激励のご祝辞を戴いた…。

- ご来賓の先生方
- 国際抜刀道連盟 理事長 中村 憲三 先生
 - 全日本戸山流居合道連盟 会長 旗谷 嘉辰 先生
 - 神刀流 総本部 宗家 日比野正晴 先生
 - 日本総合武道尚武館 総本部最高師範 下田 柔心 先生
 - 元鹿島神武殿 支配人 深牧 正誼 先生

74歳で没した偉人。現代でも生き続ける“孔子の心に響く論語の真意”を説き連盟の発展を祈念し、人生開拓の“極意”を通じ、組織の確立助言を説く参議院議員決算委員長 岡田 広 連盟名誉会長





創立25周年記念祝賀会 平成29年3月19日(日曜) 於：ニュー新橋ビル“コンセント”



“修錬と絆”…“絆と連帯”をスローガンに
更なる連盟の発展と互いの健康を願い“乾杯”



■ 〈乾杯 挨拶〉

連盟副会長 中島 正夫

一言添えさせて戴き、高らかに
〈祝賀の乾杯〉に入りたいと思います…。

この度は、大江連盟会長ならびに中世古相談役のご尽力と、また連盟役員、各県各支部長のご協力を戴きまして、株式の市場で言うならば「(有限会社)」から「(株式会社)」となり、さらに一部市場に上場したと同様に、一般財団への移行と本日私達は、誠にこの目出度き日を迎えました…。

しかし、その反面。武道界からは、それだけに抜刀道の「修錬実績と将来」そして「組織運営」の面では、更に厳しく注目される存在となりました…。

私達は、今は亡き先人の尊い(意志と情熱)を継ぎ(いばらの道)を乗り越えて今日に至っておりますが、武道の源流を為す抜刀道を日本の武道文化遺産として、日本刀の尊厳を維持しつつ…ここに我々の手で「正統抜刀道」として後世に残して行くようではありませんか…。

会報

…◆第50号◆…
(P-3)

企画・構成・編集：広報部



武道振興財団として歩み続け
多くの人材を輩出した鹿島神武殿。
閉館まで守った深牧支配人と対話する大江連盟会長



…今日の一杯
明日への活力…
男どうしで
飲む酒に
明日の明るい
夢がある





◆私達は頑張ります！◆お人柄紹介◆



■柴田輝久 昭和55年07月07日(36才)
①所属 支部：東京道場 ②段位：5段
③役職：東京道場担当
④趣味：読書 ⑤座右の銘：万里一空
⑥一言：若輩者すが今後も宜しく！



■保泉正夫 昭和24年07月22日(67才)
①所属 支部：東京道場
③役職：専属カメラマン
④趣味：過疎地の老人との触れ合い
ボランティア活動。月3回で8年の実績。
⑤座右の銘：一生懸命。
⑥一言：連盟の会員である事が嬉しい！



■田村悟 昭和43年11月13日(48才)
①所属 支部：川崎支部 ②段位：3段
③役職：東京道場担当
④座右の銘：一意専心 ⑤趣味：刀剣鑑賞
⑥一言：抜刀を通じ自己を磨き頑張る！



■高橋道夫 昭和24年07月31日(67才)
①所属 支部：川崎支部 ②段位：4段
③役職：会計補 ④座右の銘：百錬成鋼
⑤趣味：祭り囃子
⑥一言：組織の一員として頑張ります！

◆本部昇段審査◆

五段以下《昇段審査会》および合同稽古会の実施
平成29年3月18日 於・県立神奈川武道館

Table with columns for rank (初段 to 五段), status (受審者, 合格者), and names of candidates and examiners.

審査長 大塚光男 審査員 藤田久男・岡本光正
(評価) 受審者全員が形では合格し、実技で失敗。
形実技一体の修練をつんでほしい！
《稽古会》講師 大塚光男・菅野茂・藤田久男
境 泰雅 ※(参加者)25名

◆編集後記◆



送られてきたスナップ写真と“にらめっこ…”。
かれこれ1時間半があつと言う間に過ぎた。
苦勞して撮影した“専属カメラマン・広報部員”
から送付されてきた、100枚近いスナップ写真の
中から“数枚”を精査し選別…。送り主の、その労に感謝し
報いる為にも、私の方は受けた写真を、どう料理するか…。つまり…
「どの様に纏め、どの様に会報に掲載し、会員に届けるか」その発想が
浮かばずに、イマジネーションに悩む時間だけが過ぎる…。

今回は、創立25周年を記念して“49号・50号”を発刊するが…
ふと足元を振り返ると、前任者から引き継ぎ、前任者の労を汚さぬ様にと
気配りしながら現在に至るが…、現代に生きる全く新しい発想で縦横
の活字を巧みに組み合わせ、料理で言うならば「どんな立派な材料」でも、
調理と盛り付けが悪いと客離れすると同様に…、会員諸兄が“読み
やすく、飛びつきやすく”を念頭に、情熱をかけ“真剣勝負”のつもり
で(企画・構成・編集)の工夫に“年甲斐”もなく努力してきた…。

その結果。前任者から引き継いだ後、初版の会報29号1頁から創立
25周年記念を記念する、今回の“50号発刊”で…自分でも驚くほど
何と驚異的な馬力で“A4版98頁”を書きまくった…。

先人が築いた、本連盟の制定刀法が『同格の武士同士の真剣勝負から
生まれた剣の理合いと所作』であるならば…、私の相手は、連盟会報を
制作し、その情報を会員諸兄に伝える事であると認識して頑張っている
が…こんなことをしていると、お陰様で“ボケ”る間も無い…。

副会長 ◆ 中島正夫 ◆ 広報部長



過去に両眼白内障施術をしているだけに、
情けない事に、季節の花粉症には弱く…、
眼圧調整目薬。目に栄養を与える目薬。そして、
目に潤いを与える何本かの目薬の力を
借りながら、会員に届けるべく、今日も
深夜まで、抜刀道の修練と同様に(心眼)
をもって会報作りは続きます…。

◆支部便り◆

教士 七段



齋藤朝男
現地の抜刀道公開演武の会場では、550席の客席が満席。
日本侍の小杉耐三(範士八段)と齋藤朝男(教士七段)とで
制定刀法の「形と試斬」を公開。静まりかえった会場は演武が
終わると、割れんばかりの拍手と歓声が降りて来ると、拍手
が鳴り止まないほどに観客に抜刀道を通じた感動を与えた…。

範士 八段



支部長 小杉耐三
新潟支部、小杉耐三支部長(範士八段)が率いる新潟支部は、
去る平成28年5月に新潟市で開催された、アイトミックスジ
ヤパンでの抜刀道公開演武がご縁で、この度、日墨協会、日本
国際交流基金本部、在メキシコ日本大使館の呼びかけで、昨年
の12月1日から7日まで日本文化を紹介する大イベントに
参加し、大きな実績と「日本・メキシコの友好親善の任」を果
たしてきました。

◆広報便り

【誰も気づかない発想】 ただ単に活字を“見るのではなく”… 50cmほど離して会報の1枚を眺めてほしい…。 写真を挟んで活字を縦横に
巧みに組み合わせ、絵画を眺める様な『絵心の発想』で一枚の作品として『構成・編集』がなされています。 抜刀道を通じたご自分の人生記録をセロケースに入れて机の
片隅に飾るもよし。 名刺がわりに“COPY”して記念に配布するもよし。この様な“男のロマン”を勝手に抱き“連盟発展”の為、日々真夜中まで会報作りは続きます…。